

# OODOOR 2

オーダーメイドスライドドア【オドア2】インセットタイプ

## 施工説明書

必ずお読みください



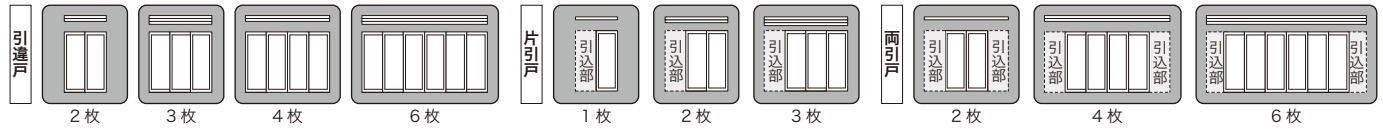
### 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

対象製品：引違戸 2枚/3枚/4枚/6枚 片引戸 1枚/2枚/3枚 両引戸 2枚/4枚/6枚

**注意** 本施工説明書は以下の対象製品をひとつにまとめ説明しています。下記の注意事項をよくお読みのうえ、正しく施工を行なってください。



●本書は引違戸2枚または3枚・右手を例に施工手順を説明しています。それぞれの相違点は扉枚数・レール本数・引込部分の有無で、基本的な施工方法は同じです。  
 ●引込戸は引込部分の上レールが延長するだけで基本の施工方法・手順は同じです。 ●左勝手の場合は左右対称の取り付けとなります。  
 このルールを基本にして、別添の製品詳細図面を参照しながら施工を進めてください。

### 注意事項

#### 施工をされる方へ

- 施工前に必ず本説明書をよくお読みのうえ、正しく施工を行なってください。
- 特に「警告・注意」は必ずお守り下さい。施工される方や、ご使用になる方、他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、厳守すべき内容を以下に区分表示で説明しています。
- 本書にそわず、間違った施工・取り扱いを行なった場合には、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

屋外禁止 内装専用の製品です。屋外での使用はできません。	水・湿気禁止 屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。	テープ禁止 粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。	溶剤厳禁 溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。
---------------------------------	---	---	--

### 警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の施工・取扱方法について次のような警告表示をしています。内容をご理解のうえ、正しく安全に施工を行なってください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。	本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。
<b>警告</b> この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。	「してはいけない」を示します。
<b>注意</b> この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。 (※1) 傷害とは、治療入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。(※2) 物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。	「必ず行なっていただくこと」を示します。

<b>警告</b>
指定された部品以外の使用禁止。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。
製品にぶら下がらない。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。
上レールの固定確認。 3方枠、特に上レールは確実に固定できているか必ず確認してください。固定が不十分な場合、部材の落下原因になり危険です。強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。

<b>注意</b>
スムーザーの分解・改造禁止。 スムーザーを扉から外したり、分解や改造、潤滑油を使用したりすると、開閉速度に変化が生じ、非常に危険ですので絶対に行なわないでください。
下地補強を必ず行なう。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。下地は木下地を使用してください。
施工・取付作業は必ず2人以上で行なう。 破損・ケガのおそれがあります。

**注意** このマークは本文中で施工方法の注意点やポイントを表示しています。

### その他の施工に関する注意事項

- 施工前に下記 **開口部の確認** を参考に、躯体の水平・垂直を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
- 本製品はクロス貼り前に施工してください。
- 付属ビスで施工してください。梱包に使用箇所を記し、部材に取付位置を示すシールを貼っています。
- 指定のビス止め箇所は確実に実施してください。施工時は傷がつかないように注意してください。
- 電動工具でビス頭がつかぬよう、締めすぎにご注意ください。
- スムーザーについて**
- スムーザーは扉を閉じる際の衝突音や跳ね返りを軽減する部材です。指はさみを防止するためのものではありませんので、施工中・開閉の際にはご注意ください。
- スムーザーが作動する際、カシャという音が発生します。
- 扉を開ける際、50mm程度までの間は操作を重く感じる場合があります。

### 施工時の製品取り扱いに関する注意事項

- 上レールや扉本体上部の吊車周辺などに、ホコリなどの異物が付着したまま施工や動作確認を行ないますと、上レールや吊車の摩耗の原因となり、正常に走行しなくなるおそれがあります。こまめに清掃を行なってください。
- 扉の開閉動作はゆっくり行なってください。扉を勢いよく閉めると、減速せず枠に当たったり、戸先の跳ね上がりが発生したりするおそれがあります。
- 扉本体が汚れた場合、アルミ部分は布スポンジなど柔らかいものを使い、洗剤は必ず台所用中性洗剤を薄めて使用してください。パネル部分はパネルについているゴミやほこりなどを柔らかいハンドモップなどで軽く拭いた後、水で200倍程度に薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を絞り、軽く拭き取ってください。
- 製品の仮置・保管は直射日光の当たる場所や湿気の多い場所を避け、壁に立てかけずに保管してください。
- 施工時に製品を床や壁・天井にぶつけないようご注意ください。特に床は養生を行い、製品および床面にキズが付かないようご注意ください。
- 現場の建築完了まで、本体および3方枠、マグネットガイドピンを養生してください。ダンボール等を用いる場合、直接粘着テープを貼らないでください。

### 施工前の確認事項

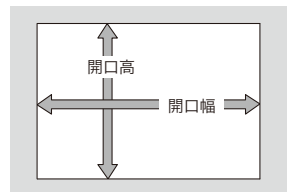
#### ■上レール・天井納まり(参考例)

- 野縁のない箇所には補強材または12mm厚以上の合板(現場調達)で下地補強してください。
- 製品の重量で天井や補強材が垂れ下がらないように確実に補強してください。  
扉1枚当たり(扉幅900mm×扉高2400mmの場合)、約13kg程度の重量があります。躯体には十分な強度を持たせてください。

<b>木質天井</b> [ 天井直付 ] 	<b>軽鉄天井</b> 野縁間の場合 
<b>垂壁納め</b> 	野縁下の場合 

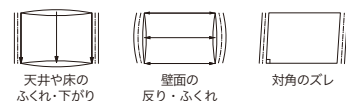
#### ■開口部の確認

- 開口部の垂直・水平を下げ振りや水準器で正しくしてください。
- 開口寸法と製品寸法を照合確認してください。



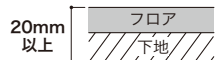
### 注意

最低3カ所はご確認ください。  
(採寸箇所：下図矢印部分)



#### ■床面について **マグネットガイドピン仕様**

マグネットガイドピン仕様は捨て貼り専用です。マグネットガイドピンを埋め込んで施工するため、必ず下地があることをご確認ください。



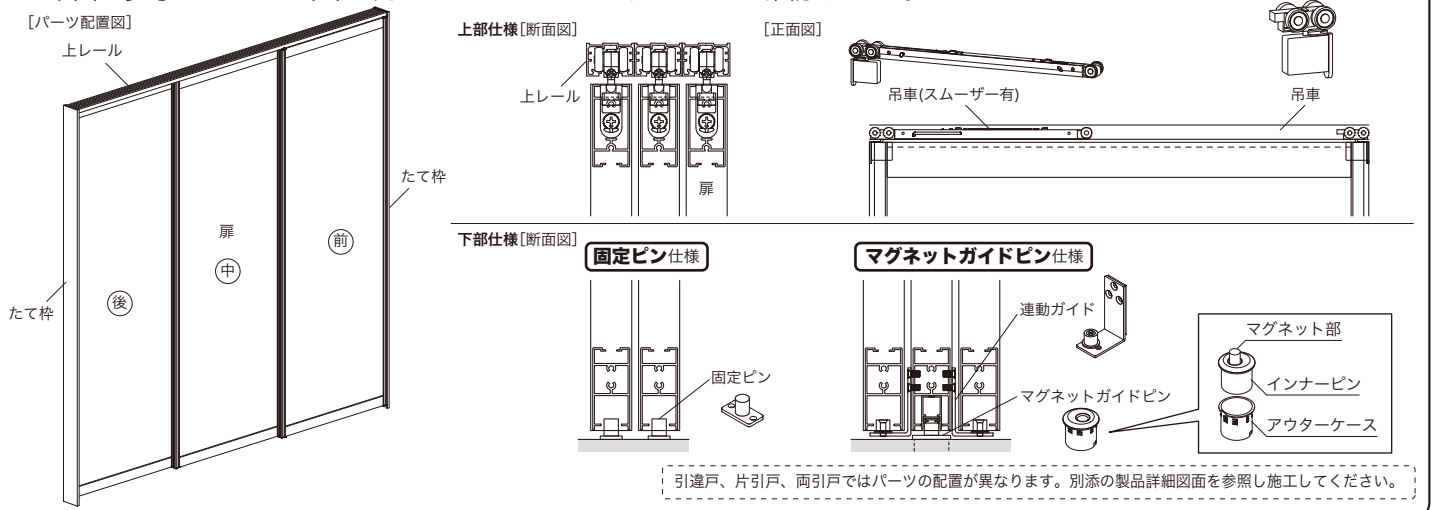
# パーツセット明細

寸法単位:mm

納まりタイプ	引違戸2枚	引違戸3枚	引違戸4枚	引違戸6枚	片引戸1枚	片引戸2枚	片引戸3枚	両引戸2枚	両引戸4枚	両引戸6枚
下ガイド仕様	固定ピン	マグネットガイドピン	固定ピン	マグネットガイドピン	固定ピン	マグネットガイドピン	マグネットガイドピン	固定ピン	マグネットガイドピン	マグネットガイドピン
固定ピン仕様	2	—	4	—	1	—	—	2	—	—
マグネットガイドピン仕様	—	2	—	4	—	1	2	—	2	4
扉(固定タイプ) 連動ガイド用加工なし	—	2	—	4	—	1	2	—	2	4
扉(連動タイプ) 連動ガイド用加工あり	—	1	—	2	—	1	1	—	2	2
たて枠	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
上レール	2	3	2	6	1	2	3	1	4	6
吊車	2	3	4	6	1	2	3	2	4	6
吊車(スムーザー有)	2	3	4	6	1	2	3	2	4	6
スムーザー受け金具セット ・スムーザー受け金具 ・サラビスL=30×2	4	6	8	12	2	4	6	4	8	12
バリアブロック	—	—	2	3	—	1	2	1	3	5
ナベビス L=16 (バリアブロック取付用) L=16mm	—	—	4	6	—	2	4	2	6	10
固定ピンセット ・固定ピン ・サラビスL=20	2	—	4	—	1	—	—	2	—	—
マグネットガイドピン	—	6	—	12	—	4	6	—	8	12
連動ガイド	—	2	—	4	—	1	2	—	2	4
サラネジ L=10 (連動ガイド取付用) L=10mm	—	6	—	12	—	3	6	—	6	12
サラビス L=50 (上レール取付用) L=50mm	16	29	26	56	9	20	38	26	38	74
ビスキャップセット (たて枠取付用) ・サラビスL=40 ・ビスキャップ	24	24	24	24	12	24	24	12	24	24

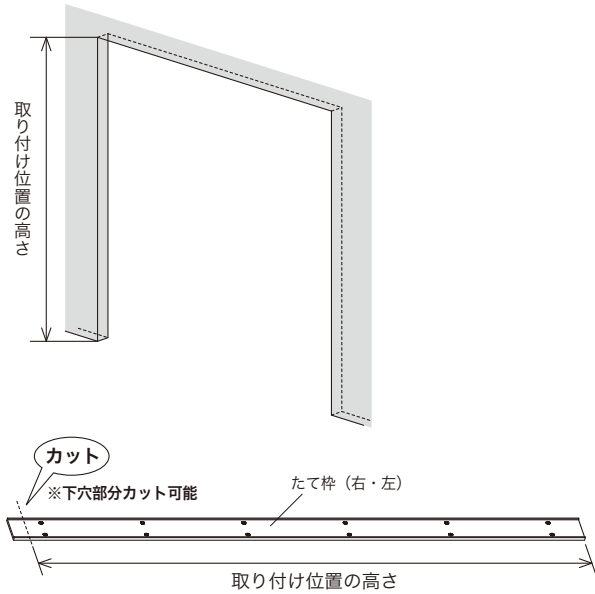
## 注意

- 部材や部品に不足がないか、ご確認ください。
- 表中、**上レールにセット**・**扉にセット** は、それぞれ上レール・扉(連動タイプ)にパーツがセットされた状態で納入されます。下図を参考にして正しい位置・向きにパーツがセットされているかご確認ください。



## 1 たて枠の高さカット

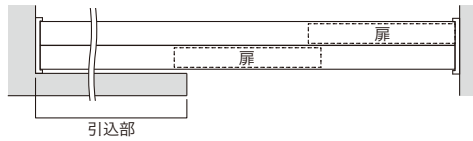
取り付け位置の高さに合わせてたて枠(左・右)をカットしてください。上下どちらからもカット可能ですが、カットした方が上側になります。



### 片引戸、両引戸の場合の施工手順

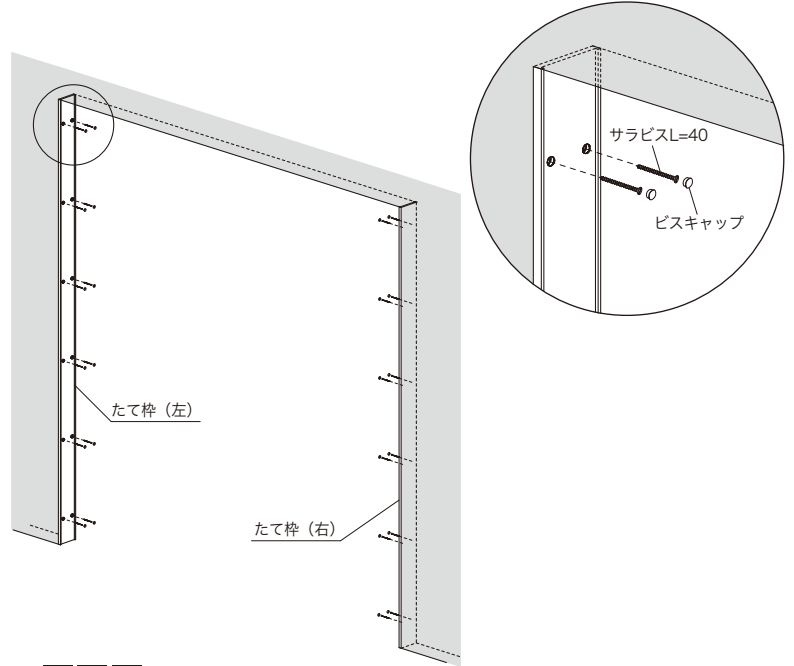
片引戸、両引戸の場合は、引込部分の上レールの長さが延長されますが、基本の施工方法・手順は引違戸と同じです。説明に準じて施工を進めてください。

[上面図]



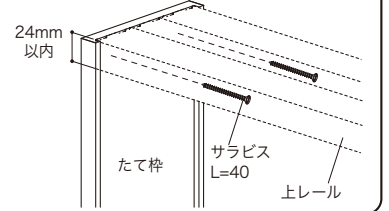
## 2 たて枠の取り付け

左右それぞれのたて枠を1でカットした側が上になるようにサラビスL=40で、下穴にそって固定します。ビスで固定した後、同梱のビスキャップを取り付けてください。



### ご注意

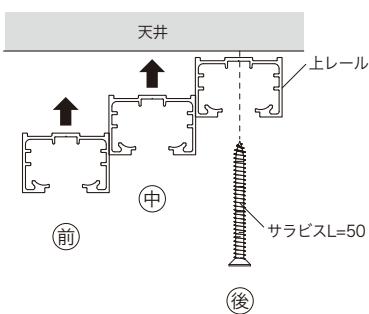
1で下穴部分もカットした場合は、上レール取り付け時に上レールでビス穴が隠れる位置にビス打ちしてください。



## 3 上レールの取り付け

(後) レールから順に約450mmピッチであいている下穴にそって、サラビスL=50で天井に固定してください。上レールの取り付け後は両端部につめているエアキャップを取り外してください。

[断面図]

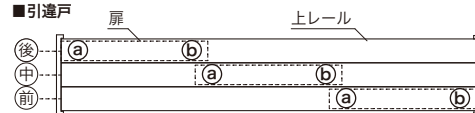


### ご注意

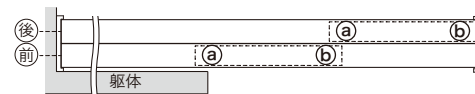
- 上レールは現場でカットしないでください。
- 上レール位置が開口部に対してずれていると、開閉時動作が悪くなるので正しく取り付けてください。
- 上レールには吊車、吊車(スモージー有)が挿入された状態で梱包されています。
- 上レール内に、木くずやゴミが入らないようご注意ください。ゴミが入っているとソフトクローズ機能が低下するおそれがあります。
- 吊車、吊車(スモージー有)は納まりごとに取り付け向きが異なります。上レールは下図を参考に正しい向きに取り付けてください。

[上面図]

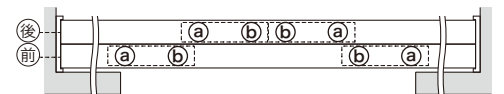
### ■引違戸



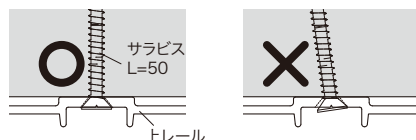
### ■片引戸



### ■両引戸



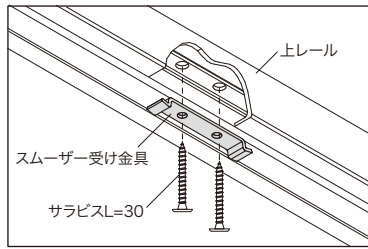
- 上レールの凹部にビス頭が出ないように、天井に対して直角にビス打ちしてください。ビス頭が出ていると、吊車(スモージー有)と干渉するおそれがあります。



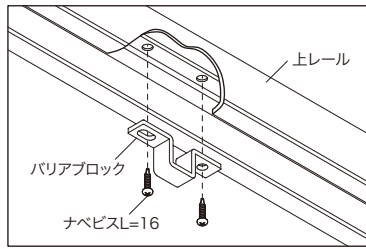
## 4 スムーザー受け金具、バリアブロックの取り付け

上レールにあっていそれぞれの下穴にスムーザー受け金具、バリアブロックを取り付けます。

### スムーザー受け金具の取り付け

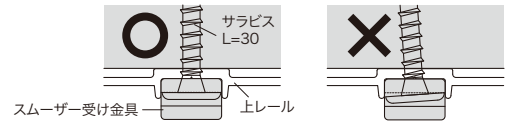


### バリアブロックの取り付け



### ご注意

直角にビス打ちしてください。ビス頭が出ていると、吊車(スムーザー有)と干渉するおそれがあります。

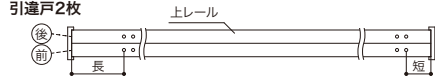


### 下穴位置参考図

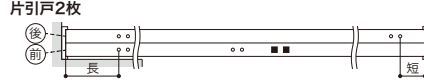
[上面図]

スムーザー受け金具下穴位置:○● バリアブロック下穴位置:■●

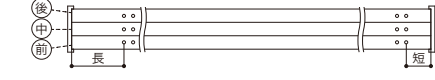
#### 引違戸2枚



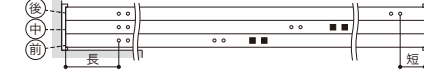
#### 片引戸2枚



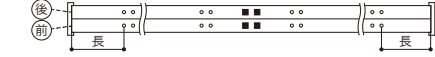
#### 引違戸3枚



#### 片引戸3枚



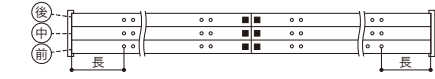
#### 引違戸4枚



#### 両引戸2枚



#### 引違戸6枚



#### 両引戸4枚



#### 片引戸1枚



#### 両引戸6枚



ここからは固定ピン仕様・マグネットガイドピン仕様で施工方法が異なります。下記の手順のとおり施工してください。

**固定ピン仕様** 施工方法:

5 → 6 → 10 ~ 11

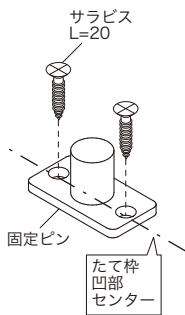
**マグネットガイドピン仕様** 施工方法:

7 → 8 → 9 → 10 ~ 11

※UWは枠外幅 DWは扉幅を表しています。

## 5 固定ピンの取り付け **固定ピン仕様**

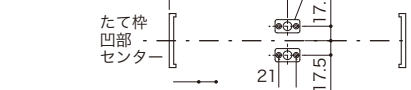
下図を参照し、取り付け位置を墨出した後、固定ピンを同梱のサラビスL=20で固定してください。



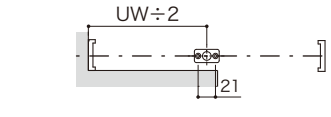
### 固定ピン取り付け位置参考図 (詳細は別添の製品詳細図を参照してください。)

[上面図]

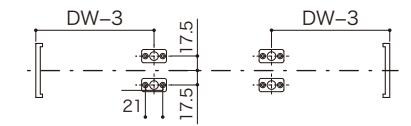
#### ■引違戸2枚



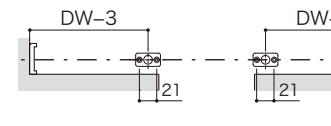
#### ■片引戸1枚



#### ■引違戸4枚



#### ■両引戸2枚



## 6 扉の吊り込み **固定ピン仕様**

扉は(後)から順に取り付けてください。1枚目の扉を吊り込み後、次の扉の取り付け作業を行なってください。作業はこの繰り返しとなります。

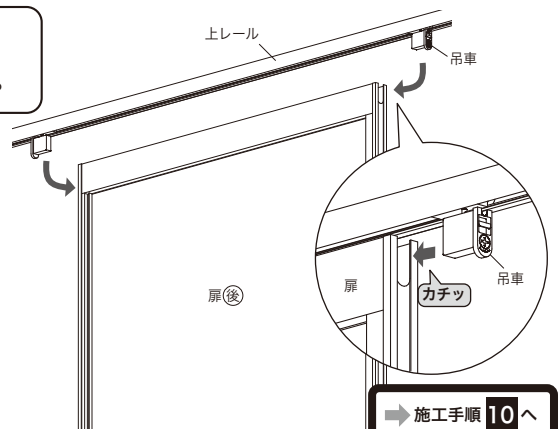
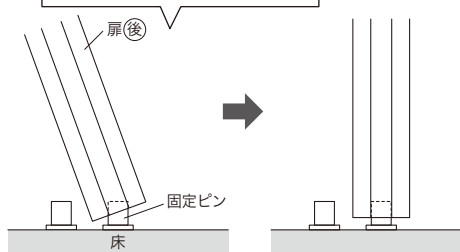
固定ピンにゆっくりと扉(後)の溝をはめ込んだ後、吊車を扉(後)に差し込み、吊り込んでください。

### ご注意

扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏があっているかどうか再確認してください。

[側面図]

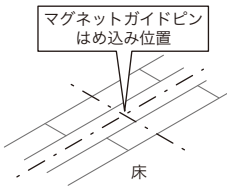
扉は持ち上げながら挿入するとスムーズに取り付けられます。



## 7 マグネットガイドピンの取り付け マグネットガイドピン仕様

### 1 はめ込み位置を墨出し

右図を参照してマグネットガイドピンのはめ込み位置を墨出ししてください。

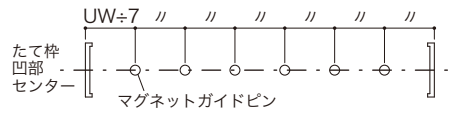


マグネットガイドピンはめ込み位置参考図 (詳細は別添の製品詳細図を参照してください。)

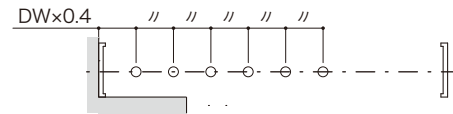
マグネットガイドピンはめ込み位置: ○

【上面図】

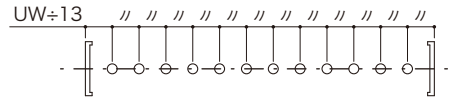
■引違戸3枚



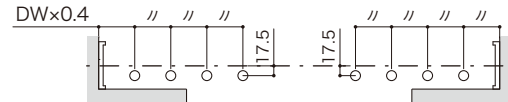
■片引戸3枚



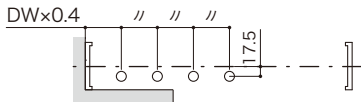
■引違戸6枚



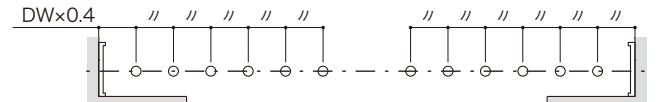
■両引戸4枚



■片引戸2枚



■両引戸6枚



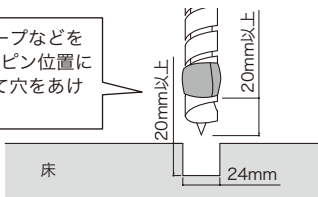
### 2 マグネットガイドピンはめ込み位置に穴をあける

1で墨出した位置にドリルでφ24mm・深さ20mm以上の穴をあけてください。

#### 注意

- 下記の寸法を守り、垂直になるように穴をあけてください。
- 穴をあけた後、穴の部分のゴミを除去してください。

穴の深さ位置にテープなどを巻きいて目印とし、ピン位置にドリルを垂直にして穴をあけてください。



### 3 アウターケースをはめ込む

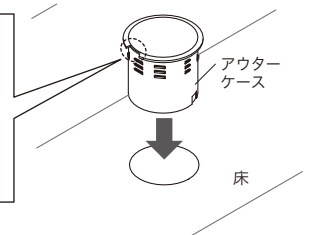
2であけた穴にアウターケースをはめ込んでください。

#### 注意

アウターケースをはめ込む際は、必ず当て木を使用してください。

アウターケース上部の切り欠き部が同じ向きになるようにはめ込んでください。

【上面図】



## 8 連動ガイドの取り付け マグネットガイドピン仕様

### 1 取り付け位置の確認

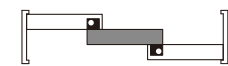
連動ガイドは連動タイプの扉に取り付けます。右図を参照して連動ガイドの取り付け位置をご確認ください。

連動ガイド取り付け位置参考図 (詳細は別添の製品詳細図を参照してください。)

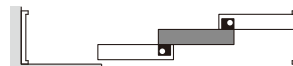
扉(固定タイプ): □ 扉(連動タイプ): ■ 連動ガイド: ● (※連動ガイドは扉(連動タイプ)に取り付きます)

【上面図】

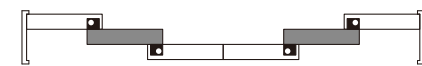
■引違戸3枚



■片引戸3枚



■引違戸6枚



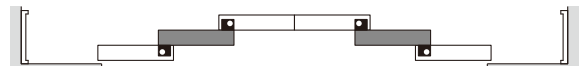
■両引戸4枚



■片引戸2枚



■両引戸6枚

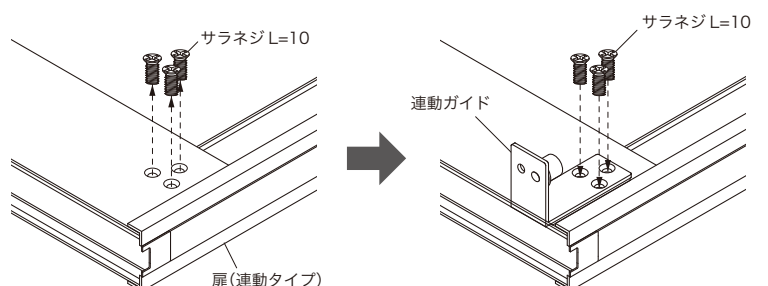
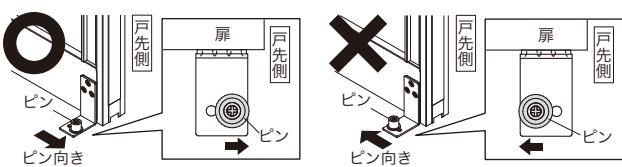


### 2 連動ガイドの取り付け

扉(連動タイプ)に取り付いているサラネジL=10を取り外した後、下穴にあわせて連動ガイドをサラネジL=10で固定してください。

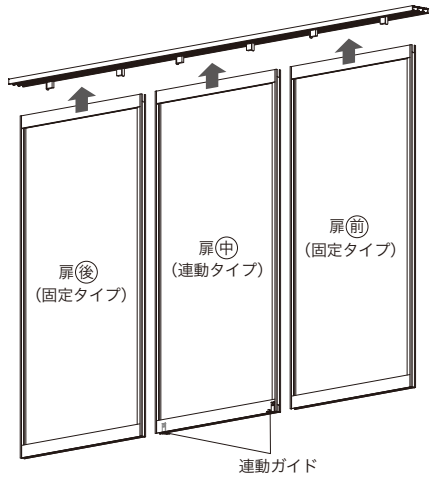
#### 注意

連動ガイドはピンが戸先側に向くように取り付けてください。



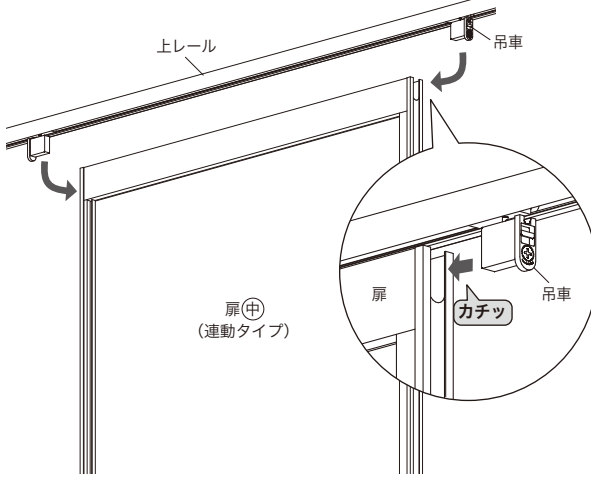
## 9 扉の吊り込み **マグネットガイドピン仕様**

扉は**連動タイプ**から順に取り付けてください。  
1枚目の扉を吊り込み後、次の扉の取り付け作業を行なってください。作業はこの繰り返しとなります。



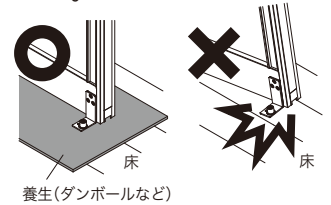
### 1 扉(連動タイプ)の取り付け

吊車を扉(連動タイプ)に差し込み、吊り込んでください。



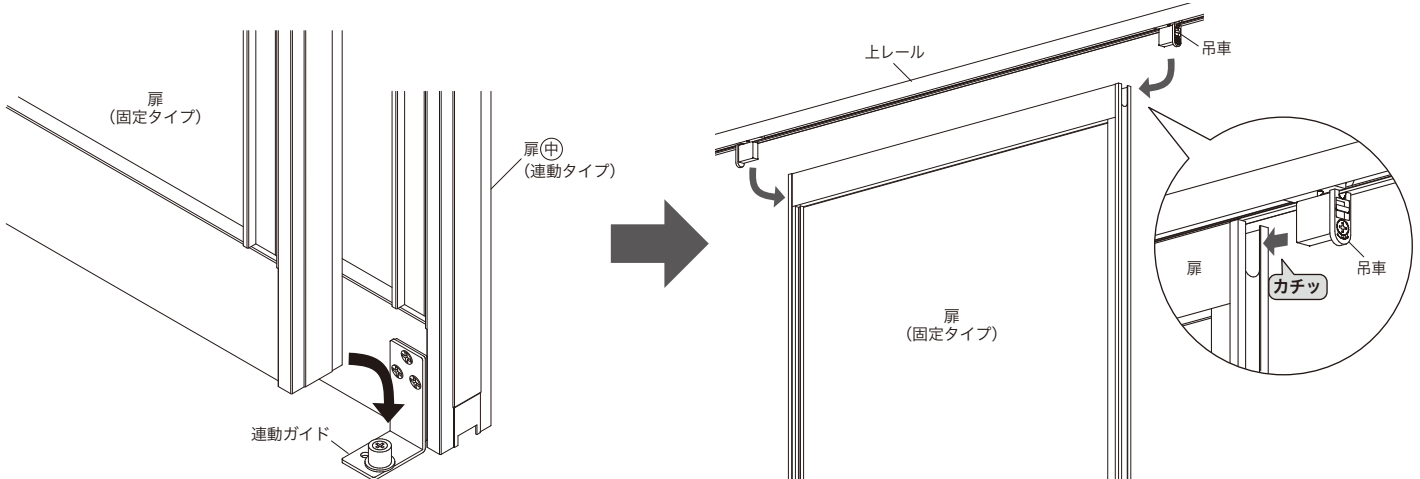
### 注意

- 扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏がまっているかどうか再確認してください。
- 扉(連動タイプ)を吊り込む際、連動ガイドが床を傷つけないように養生(ダンボールなど)してください。



### 2 扉(固定タイプ)の取り付け

扉(連動タイプ)の連動ガイドに扉下部をはめ込んだ後、吊車を扉に差し込み、吊り込んでください。

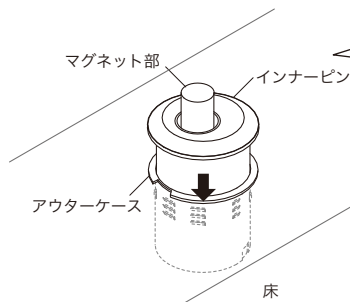


### 3 マグネットガイドピンの調整

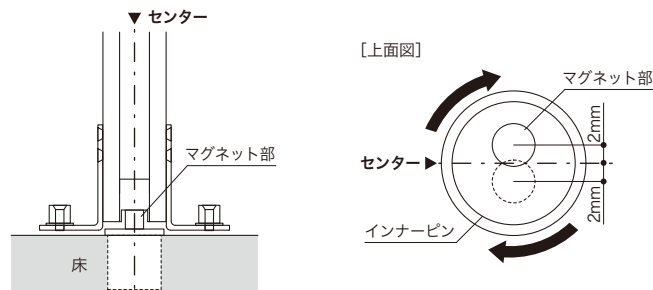
7ではめ込んだアウターケースヘインナーピンをはめ込んでください。

### 注意

マグネットガイドピンのゴミを取り除き、施工後は養生してください。

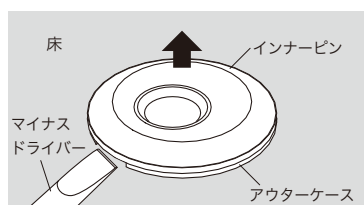


マグネット部が扉(連動タイプ)のセンターにくるように、インナーピンを回転させて向きを調整してください。(インナーピンの回転でマグネット部の位置を  $\pm 2\text{mm}$  移動できます。)



### インナーピンの外し方

アウターケースの切り欠き部にマイナスドライバーをはめ込み、外してください。



### 注意

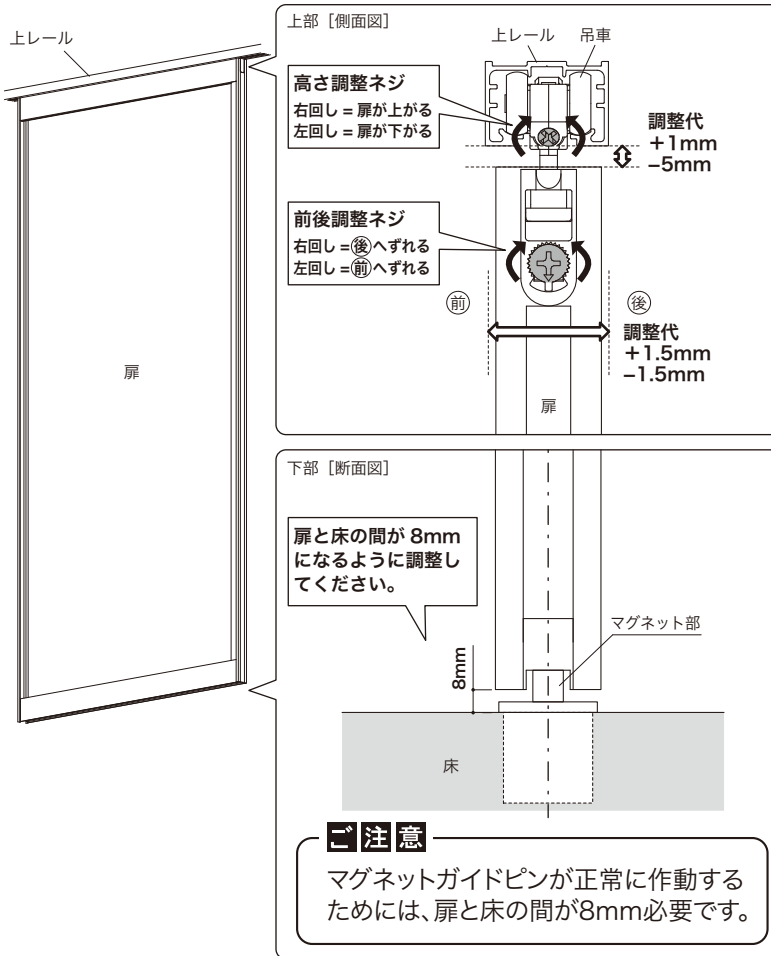
取り外しの際は、床を傷つけないようご注意ください。

## 10 扉の調整

吊車の調整ネジにて扉の調整を行なってください。

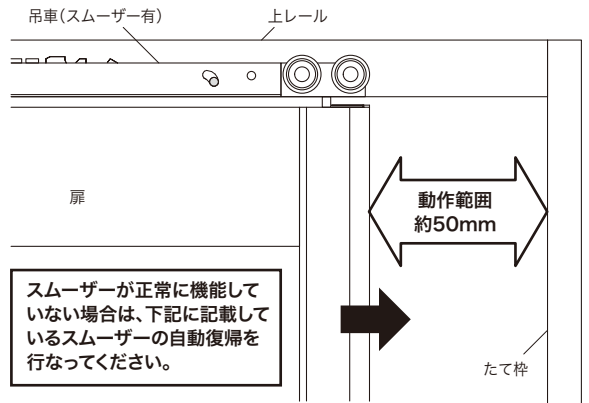
### ご注意

調整代±3mm以上の調整を行なった場合、扉の外れや他の部品または床面との干渉が生じ、異音の発生や開閉動作に支障をきたしますのでご注意ください。



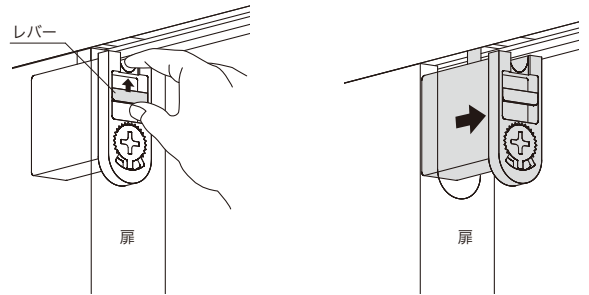
## 11 スムーザーの動作確認

扉をスライドさせてスムーザーが正しく動作しているか確認してください。



## 扉の取り外し方

吊車(扉両側)のレバーを押し上げ、扉から吊車を抜いてください。抜けにくい場合は、マイナスドライバーを使って吊車を抜いてください。



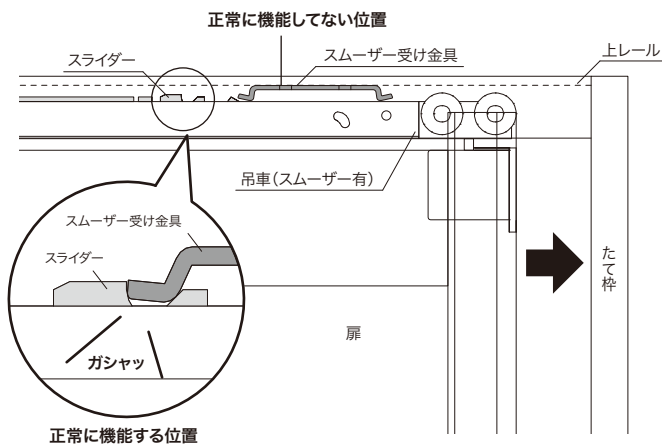
## スムーザーの自動復帰 ※スムーザーが正常に動作しない場合のみ

### 1 扉を全閉

扉を戸先側に動かし、全閉してください。左右どちらかが10mm程手前で一度扉が止まりますので、最後まで閉め切ってください。スライダがスムーザー受け金具を乗り越えるとガシャツと音がします。

### ご注意

必ずたて枠に当たるまでゆっくりと強く全閉してください。

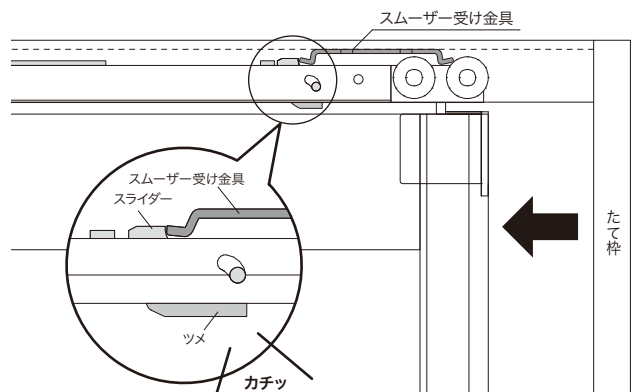


### 2 扉を開く

スムーザー受け金具が見えるまで扉を開いてください。正常に自動復帰するとカチツと音がし、吊車(スムーザー有)下側にツメが出てきます。

### ご注意

開閉はゆっくりと行ない、スムーザー自動復帰後は無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。動作不良の原因となります。



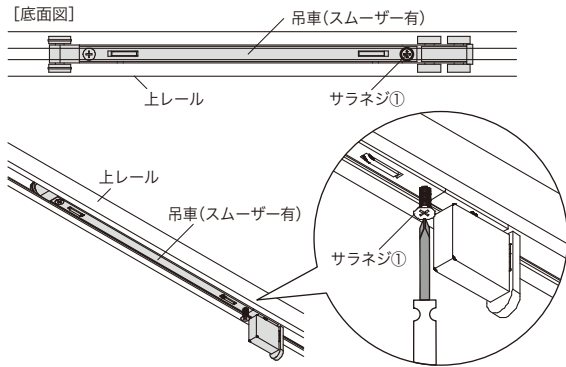
### 3 スムーザー自動復帰の確認

扉をスライドさせてスムーザーが正しく動作しているか確認してください。(11参照) スムーザーが正常に動作するまで、上記1・2を繰り返してください。

## 吊車 (スモーター有) メンテナンス方法 ※スモーター部を交換する場合のみ

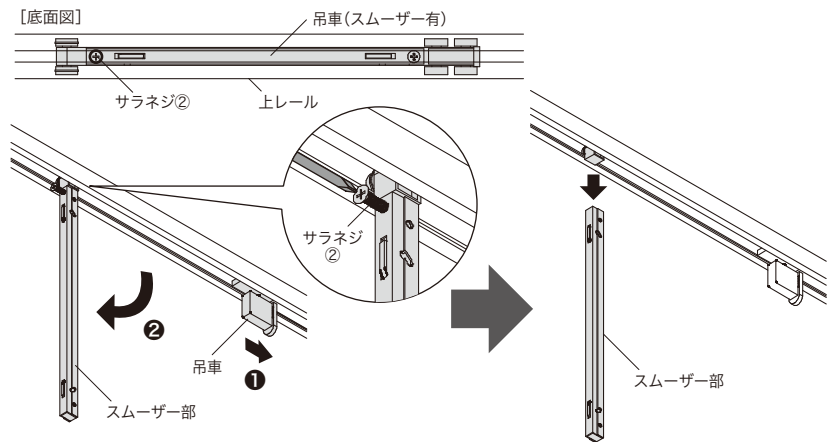
### 1 扉、ビスの取り外し

扉を外し、吊車(スモーター有)のサラネジ(下図①)を取り外します。



### 2 スモーター部の引き抜き

吊車とスモーター部を引き離すと、スモーター部が上レールから垂れた状態になるのでサラネジ(下図②)を取り外し、下に引き抜いてください。



### 3 スモーター部の取り付けは逆の手順で行なってください。

### ご注意

電動式  
ドライバー  
使用禁止



## 建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

製品名: オーダーメイドスライドドア オドア2

製造者名称: 南海プライウッド(株)

発散区分: F☆☆☆☆

ロット番号: 製品梱包に記載

- 構成材料 -

部材・部位	材料名	表示区分	認定・登録種類	認定・登録番号	認定登録機関
パネル・木調タイプ	オレフィン貼り MDF 化粧板	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002102	(一社)日本建材・住宅設備産業協会

### ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先: 品質管理グループ 087-894-8025